

令和4年度 学校経営計画書

1 目指す学校像

(1) 教育目標

いかなる時代にもたくましく生き抜ける人間の育成

校訓『自尊』のもと、勇気・洞察・判断の三つの力を育み、『いかなる時代にもたくましく生き抜ける人間の育成』を目指し、地域社会に信頼され貢献できる学校づくりに努める。

(2) 目標具現化の柱

北駿地区の「面倒見の良い定時制高校」として、自立できる生徒を育て、地域に貢献できる人材を育成する。

ア 自立の心を持った生徒を育てる生活指導とすべてに優先する安心安全な学校作り

(ア) 挨拶の励行「挨拶は、人に好かれる魔法の言葉」

(イ) 積極的な交通指導と校内巡視

(ウ) 生徒会活動の活性化

(エ) 学校生活のルール・マナーを徹底

(オ) 施設、設備の安全管理の徹底

イ 基礎基本の定着と自ら学ぶ姿勢の育成

(ア) 生徒一人一人の学力の把握に努め、資格取得を推奨

(イ) 学習支援員による授業外での学習支援

(ウ) 生涯学習の基礎作り

ウ 勤労観及び自ら進路を切り拓く力の育成

(ア) ハローワークや地域の関係機関と連携し、キャリア教育を充実

(イ) 地域の人材等を活用し、地域の産業や課題について学ぶ機会を充実

エ 家庭・職場・地域からの理解及び協力を得た生徒支援体制の充実

(ア) 教育活動の内容について保護者や地域へ積極的に情報を発信

オ 組織力を高め、学校全体として教育に当たる体制の推進

(ア) 組織力を高めるための校内研修の充実

(イ) 分かりやすい授業のためのユニバーサルデザインの考え方やICTの活用方法の共有

(ウ) ワークライフバランスを尊重する組織づくり

カ 業務改善による教員の豊かな教員人生の確保

(ア) 教材研究や情報交換の時間の確保

(イ) 各教員の休暇取得の推奨

(ウ) 自己研鑽や心身のリフレッシュによる教育効果の向上

様式第1号

2 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	自立の心を持った生徒を育てる生活指導とすべてに優先する安心安全な学校作り	<ul style="list-style-type: none"> 職員による登下校時の交通指導、校外内の巡視による規範意識向上と盗難防止。 主体的な生徒会活動の推進。生活マナー改善、交通安全について生徒会委員会による啓発活動を実施。 巡視活動や生活アンケートを通して、生徒動向をきめ細かく把握する。定期的情報交換により、職員間の情報共有をはかる。 	<ul style="list-style-type: none"> 登下校を含む学校生活における重大事故発生0件。 いじめ、恐喝、窃盗の発生0件。 「授業・生活アンケート」の主体的行動、生活態度の項目における肯定的自己評価90%以上。 	生徒
イ	基礎基本の定着と自ら学ぶ姿勢の育成	<ul style="list-style-type: none"> 授業改善のための結果のフィードバック。 定期試験に向けて、学習支援員による苦手教科の復習。 「基礎力診断テスト」の事前学習の時間を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業アンケート評価10項目で肯定的評価全て95%以上。 該当試験科目の平均点。 「基礎力診断テスト」の正解率60%を目指す。 	教務
ウ	勤労観及び自ら進路を切り拓く力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ハローワークと連携し勤労意識の向上を図る。 外部機関と連携し、生徒の進路意識及びコミュニケーションスキル、ソーシャルスキルを高めるための進路行事を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 進路未決定者を0人にする。 進路行事、各学期1回実施。 	進路
エ	家庭・職場・地域からの理解及び協力を得た生徒支援体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> HPの更新時には、教員や生徒に周知する。 	<ul style="list-style-type: none"> HPを見た家庭の割合60%以上。 HPを見た教員の割合100%。 	HP管理
オ	組織力を高め、学校全体として教育に当たる体制の推進	<ul style="list-style-type: none"> 毎月の「研修の日」を通じて、職員同士で課題と目標を共有し、共通認識を持って業務に当たる。 定期的な「情報交換会」や日常的な対話での情報共有を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 研修内容は適切だったか、意思の共有ができたか、について職員アンケートを行い、肯定的な評価が90%以上である。 	研修
カ	業務改善による教員の豊かな教員人生の確保	<ul style="list-style-type: none"> 業務内容の検討を通じて各分掌の会議資料等の簡略化を図る。また資料のデータ化をさらに進める。 同じく業務内容の検討を通じ、会議時間の短縮を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 「児童生徒と向き合う時間」や「指導準備時間」が増えていると感じる教員の割合100%。 職員の年休等休暇取得率前年度比10%増。 	教頭